

モラル低下が規制の原因？
 代表取締役社長 大井建史

世界保健機関（WHO）は総会で酒類の販売や広告を規制する新指針を採択した。指針では「飲酒は世界で年間250万人の死因に関係している」と警告を発し、大量飲酒による健康被害などを防止する上から、販売時間などの制限や課税によって価格を引き上げるなどの対応を例示し、各国政府や業界に对应を促している。条約と違って強制的力はないものの、各国の酒類メーカーは自主規制の強化に乗り出す方針である。採択された新指針の例示として、販売面では、飲食店の飲み放題の制限や小売時間の制限、安売りの禁止なども掲げられ、居酒屋業界など日本での関係業界への影響も少なくないと思われる。

以上が新聞情報である。10年以上前にタバコの規制強化が始まり、「次はお酒にも来る。その防波堤だ」と等と嘯いて吸っていったタバコも、喫煙環境のあまりの劣悪さと、何より家族の嫌煙圧力、2年前の8月6日に禁煙以来10kgの脂肪が増えてしまった。最近の業界の悩みは、私の幸せな時間は、結構女房・子供を眺めながらする晩酌だつたりする。最近の業界の悩みは、

車の業界と同じで若者の飲酒離れ。日本酒を云々の前にお酒全てを飲まない事だ。

ネットが検索してみると色々な情報があつたが、今回の規制の要因は、健康にとつて有害という意見もあるが、それ以上に問題になっているのが、飲酒による犯罪の増加による経済損失が無視できない状況になっていること。

特にイギリスなどでは、伝統のパブでビールを痛飲した若者が大騒ぎを起こすことが社会問題になつており、ヨーロッパ全体では、飲酒による犯罪、暴動の損失が、年間推計で約1兆2千億、1兆9千億円にも上るという調査もあるとの事。これに端を発し、イギリスでは、政府が「飲み放題」の宣伝や「早飲み競争」の禁止法を検討したり、健康への有害性を警告がワインの健康への有害性を警告し、禁酒キャンペーンを始めたり、イタリアでも、街頭でのアルコール販売を禁止したり、14歳、24歳までの少年や若者を対象に禁酒キャンペーンを展開し、アルコールを辞めれば、賞金や旅行券などを与える報奨制度を設ける計画などという。事の始まりというか、規制に向けて加速し出したのは、1月にWHO（世界保健機関）の有害な使用を減らす世界戦略」を承認し



5月29日【第7回落語と天寿を楽しむ会】はおかげ様で満員御礼！ありがとうございました。天寿の色々なお酒・限定酒や心を込めた女性スタッフの手作り料理も「美味しい！」と喜んで頂き、今年も大いに盛り上がりました。

たことなアルコールの規制へは、随分違ひますね。草食系の人は、こんな理由で規制することになった。代に逆戻り。日本では、禁酒法が酒をキチンと飲めなくした若者が、糺せば、家族で食事をする場が親が正しい飲み方をさせる事が来なくなつたからだと私は思う。

「やはり、若い頃から周囲の重要性を説いて協力してマナーのう問題はないどころか、手負えなくなるんだね。世界を滅ぼすのは、核兵器でも細菌兵器でもなくモラルなかもしれないな。そして世界中が『夜警国家』に逆戻りするかもね。」とネット上に有ったが、賛成に一票である。

鳥海山の大自然を体感してみませんか？ 2010 水源探索のご案内

美酒「天寿」の仕込み水となる鳥海山の湧き水を求めてトレッキング・温泉に入って美味しい料理と天寿を楽しむ会・アイガモとの出会い 無農薬田視察・美酒「天寿」の酒蔵見学など



美酒「天寿」の仕込み水となる『鳥海山自然水』は雄大な鳥海山によって育まれた自然の恵みです。鳥海山に降り積もった雪は、静かに地下に浸透し、長い年月を経て伏流水となり蔵元の井戸に汲み上げられ、蔵人の手によって天寿へと生まれ変わります。今年も、映画『釣りキチ三平』のロケ地である法体の滝や『平成の名水百選』



に選ばれた元滝や中島台の出壺を散策し、天寿酒造の酒米を作るアイガモ農法の無農薬田んぼと酒蔵を見学する盛り沢山のツアーです。天寿ファンはもちろん、雄大な自然環境に触れたい方、山歩きや温泉に興味のある方などたくさんのご参加をお待ちしております。

イベントスケジュール	
＝ 9月4日（土）＝	
9：40	JR 秋田駅東口集合 （JR ご利用の方・一般参加の方）
10：40	秋田空港到着ロビー集合 （航空機ご利用の方）
12：00	元滝見学（平成の名水百選に認定）
13：00	昼食・水源探索・トレッキング （鳥海山の麓 中島台 獅子ヶ鼻温泉）
16：30	ホテル着（HOTEL フォレスト鳥海）
18：00	【天寿を楽しむ会】
＝ 9月5日（日）＝	
9：00	ホテル発
9：30	【法体の滝】散策（釣りキチ三平撮影ロケ地）
11：00	原料米の田んぼ （無農薬アイガモ農法水田等の見学）
11：30	天寿酒造（酒蔵見学）
12：30	昼食
15：20	JR 秋田駅東口着（解散）
16：20	秋田空港着（解散）

交通機関の時刻が変更になる場合がありますのでご注意ください。		
航空機ご利用の方（9月の時刻）		JRご利用の方
行 き	帰 り	行き（東京 → 秋田）
東京（羽田）→ 秋田 ANA 873 東京発 8：50 JAL 1261 東京発 7：45	秋田 → 東京（羽田） ANA 878 秋田発 17：45 JAL 1268 秋田発 19：45	寝台特急あけぼの 上野発 21：15 → 秋田着 6：45
		帰り（秋田 → 東京）
		新幹線「こまち」24号 秋田発 15：36 新幹線「こまち」26号 秋田発 16：00

ご意見、ご感想をおきかせください。
 日本酒についてもっと知りたい方、天寿についての情報を
 知りたい方、ご連絡をお待ちしております。
 ●Eメールアドレス・・・info@tenju.co.jp
 ●HPアドレス・・・http://www.tenju.co.jp
 ●フリーダイヤル・・・0120-50-3165
 ●FAX・・・0184-55-3167

★蔵見学希望の方は、準備等の都合がございますので事前にご連絡下さい。
 ★蔵元通信（2カ月に1度奇数月に発行予定）希望の方はご連絡下さい。 ※無料
 ★メールマガジン（天寿情報）希望の方は、Eメールでご連絡下さい。

お酒の NEWS



銀賞受賞 純米大吟醸「天寿」
銀賞受賞 米から育てた純米酒
銅賞受賞 純米吟醸「鳥海山」



日本名門酒会銘柄

純米吟醸「鳥海山」 1.8L 3,150円 / 720ml 1,575円
米から育てた純米酒 1.8L 2,678円 / 720ml 1,365円
純米大吟醸「天寿」 1.8L 7,350円 (新発売) / 720ml 3,150円

インターナショナルワインチャレンジ

2010年トリプル受賞

今年もロンドンにてIWC（インターナショナルワインチャレンジ・2010）の審査が行われ、天寿は、IWCとは、世界最大規模・最高権威に評価されるワイン・コンペティションのことで、世界中のワイン業者から最も注目されている大会の一つです。



天寿の歴史

補遺-4

補遺-4

藩政末期から

明治の矢島の酒造業(I)

六代目 大井永吉

藩主生駒家の居城矢島は、隣接の六郷家の城下町本荘に反して、郡内では最も積雪、寒冷地帯で鳥海山麓の地勢と気候により良質米を多く産し、また町のいたるところに清澄良質な水が湧出して酒造条件に恵まれ湯沢、六郷、新屋とともに名産地の一つと称された。

生駒家は讃岐国高松の十七万石から寛永十七年（一六四〇）一万石の堪忍料で矢島に左遷され、従って領域もせまいたため酒の需給も必然的に制約をうけていた。

大井傳之丞（屋号大井屋、酒銘「大井川」・武田佐治右衛門（俗称大武田と称され、酒銘不明）・須貝吉左衛門酒銘「梅之江」）の三軒が藩の御用商人を兼ね、藩政運営の扶けともなっていた。大井屋は我が家の本家で初代永吉が分家した時の当主五代目の幸左衛門の日記（天保年間）が遺存しており、矢島藩財政窮乏の際仕送り金主酒田の巨商本間正五郎に藩の御用金調達の折衝に難儀したあとが窺える。

十代目の大井直之助（矢島町長、秋田県会議員、衆議院議員歴任）が次の如く語っている。

「酒のさかな」と言われるように魚は酒につきもので、矢島の酒は仁賀保海岸に獲れた魚と共荷して駄馬に積まれ院内銀山に運ばれ販売された。即ち院内銀山の発展とともにその人口は著しく増加し、仁賀保方面の由利海岸で獲れた魚介類は鳥海山麓、由利原高原を経て矢島の魚商に渡され、同町生産の酒とともに馬に荷積みして、笹子（じねご・旧鳥海町）の松の木峠を越えて院内銀山に運び販売された。現今のように自由に生産地以外の他藩に移出が容易に出来なかつた時代において、地酒を小藩の矢島領内で売り捌くことは極めて困難であつたと思われる。したがってその後院内銀山の衰微とともにやしま酒の販路は狭くなり、同鉱山に近い湯沢の酒造業の中にも廃業したものもあり、私の家でも父の死去と共に明治四十年廃業した。

天寿のアイガモ放鳥会



天寿酒米研究会では無農薬栽培米を作るため、アイガモ農法に取り組んでおり、毎年、放鳥会時に矢島小学校3年生の皆さんがお手伝いに来てくれます。その様子を紹介します。

【アイガモをはなしたよ】

矢島小 3年 佐藤健太

6月9日ぼくは、天じゆの田んぼに行きました。はじめは早くアイガモをさわりたいというきもちでいっぱいでした。声が聞こえときにアイガモの鳴き声が聞こえました。いっぱいのアイガモの鳴き声がしました。それほどのアイガモがいるんだらうなあと思いました。

次にアイガモをだきました。体の毛はフワフワで、あしのツメもすごかったです。アイガモの足がつかつた手のようになつていてビックリしました。アイガモをはなしたらいいせいにアイガモがあつたって、みんなですぐアイガモの行列ができました。

さいごに天じゆの人にいろんな話の話をきいたら「アイガモはカエルを食べますよ。」と言ったのでビックリしました。アイガモをまたさわったり、田

新しい機構が整えられ、酒造行政事務は、他の国税賦課、収納事務とともに県庁が所管処理した。即ち酒造関係の醸造免許をはじめ監督、検査、取締、賦税、収納の事務一切を大蔵省の指示命達のもとに秋田県庁が所管した。

明治四年七月、太政官布達を以って清酒、濁酒、醬油醸造鑑札収税収与並に「収税方法規則」を制定して従来の株鑑札を廃止し、併せて造石高の制限を解除し、新たに免許料、免許税及び醸造税を併用した。

この税制によって、明暦三年公定されて以来、永年にわたり開業及び造石高を制限してきた制度は廃止されて、開業及び造石高の自由を享受した。これは酒造業界にとつては将に画期的なものであつたが、政府としても新たな国是を酒造業者に適用してその発展による財源の涵養を図つた歴史的意義をもつものである。（秋田県酒造史本編・矢島町史上巻）

二代目永吉はこうした時代の流れを捉え三年後の明治七年、温めていた濁酒返上、清酒製造の夢を長男与四郎とともに実現したものと思われる。

んぼにはなすのをもう一度やってみたいと思いました。



絵 木村新くん

◆お盆期間中 試飲即売予定◆

お盆期間中に地元の道の駅各店にて試飲即売会を行います。お土産やご贈答などにも喜ばれる地酒を多数準備して皆様の皆様をお越しをお待ちしております。

◎8/14日・15日 道の駅【にしめ】（由利本荘市）

◎8/15日 道の駅【岩城】（由利本荘市）

◎8/15日 道の駅【ねむの丘】（にかほ市）

